

## (9) 教 育 費

事業名	英語指導員招致事業			予算科目	会計	01	一般	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	教育総務費
担当部署	教育委員会		学校教育		課	目	02	事務局費
事業費 (A)			10,445,630 円		事業の目的・目標	市内小中学校の外国語教育の充実を図るため、外国から指導助手を招致し、外国語指導を行うことを目的とする。		
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		円					
	地方債		円					
	その他		6,899,670 円					
	一般財源		3,545,960 円					

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

指導助手2名により市内全小中学校を巡回訪問し、英語指導を行ったことにより、生の英語に接し、英会話への意欲・ヒアリング能力・英会話能力が向上した。また、休み時間や給食時間なども子どもと共に過ごし、授業時間以外の生活時間を通じて、外国への興味・関心が高まるとともに、国際的視野を広げる等の効果があった。

#### ●小学校・学年別訪問授業時数 221 時間 (単位：時間)

	郷田小	渡津小	江津東小	跡市小	川波小	津宮小	高角小	桜江小
1年生	1	2			1	3	1	1
2年生	1	2			3	3	2	1
3年生	3	4			4	3	2	2
4年生	1	3			4	3	4	2
5年生	6	10	14	22	10	8	11	11
6年生	6	10	14		10	9	12	11
特別支援学級					1			
合計	18	31	28	22	33	29	32	28

#### ●中学校・学年別訪問授業時数 854 時間

	江津中	江東中	青陵中	桜江中
1年生	120	31	126	33
2年生	115	34	121	30
3年生	31	30	125	27
特別支援学級	0	16	0	15
合計	266	111	372	105

#### ●事業の実績

費目	決算額 (円)	備考
報酬	7,200,000	外国語指導助手報酬 (2名)
共済費	1,073,300	雇用保険料・社会保険料・労災保険料
報償費	0	帰国記念品 ※今年度は入れ替えなし。
旅費	235,520	市内旅費・帰国旅費 (今年度支出なし)
需用費	5,670	消耗品・修繕料
役務費	50,360	傷害保険料 (2名分)
使用料及び賃借料	1,716,480	アパート借上料・自動車リース料・会場借上料
備品購入費	20,300	ガステーブル
負担金補助及び交付金	144,000	自治体国際化協会負担金
合計	10,445,630	

事業名		江津市教育研究会助成事業			予算科目	会計	01	一般会計
						款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率	%		項	01	教育総務費
担当部署	教育委員会		学校教育	課		目	02	事務局費
事業費(A)		5,046,000円			事業の目的・目標	「生きる力」をはぐくむ教育を实践するため、教科部会・専門部会等により組織的活動や各種事業を行い、本市の教育の発展に寄与する。		
財源内訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他	円						
一般財源	5,046,000円							

施策の内容、実績、及び効果

◎主な事業内容

○小学校外国語活動充実事業

・英語指導講師を招き、研修会を開催する

①H24. 6. 19 高角小学校 奥出雲町立亀嵩小学校 教頭 大谷 敦司氏

②H25. 1. 15, 1. 25 江津東小学校 鹿児島純心女子大学 教授 川上 典子氏

・全国小学校英語活動実践研究大会へ参加し、先進事例を学び意識の高揚を図る  
H25. 2. 8~9 京都府京都市 大谷大学ほか 13名

○中学生キャリア教育推進事業 (H24. 8. 10, 11. 29 市民センター)

それぞれの分野で活躍されている方々の体験談等を聞くことで、生徒の夢を育む一助とする  
大阪市立生野工業高校 教諭 山田 善春 氏  
数学者・大道芸人 ピーターフランクル氏

○教職員資質向上研修に関する事業

①授業力向上のための研修会の実施 (下記4校を会場に開催)

H25. 1. 10 江津東小学校 筑波大学附属小学校 副校長 細水 保宏氏

H24. 10. 23, H25. 1. 29 跡市小学校 広島大学大学院教育学研究科

附属教育実践総合センター教授 栗原 慎二氏

H24. 8. 21 川波小学校 筑波大学附属小学校 教諭 桂 聖氏

H25. 1. 26, 2. 23 青陵中学校 鳥取県北栄町立大栄小学校 教諭 矢田 美恵子氏ほか

②教職員を対象にしたコミュニケーション講座の実施

H24. 8. 26 外2回 鳥取大学医学部総合医学教育センター 准教授 高塚人志氏

◎事業費用

項目	決算額
1. 島根県小学校校長会負担金補助	160,000
2. 島根県中学校校長会負担金補助	82,000
3. 島根県幼稚園教育研究会・全国国公立幼稚園長会負担金	15,000
4. 生徒指導研修会補助金	20,000
5. 島根県教育研究会各教科・専門部補助金	200,000
6. 江津市教育研究会研究補助	200,000
7. 児童文化振興費補助金	122,000
8. 小中音楽会児童生徒輸送費、楽器運送費会場借上料補助	320,000
9. 教職員研修会補助金	10,000
10. 校内研修会補助金	39,000
11. 江津市学校保健会補助金	160,000
12. 島根県学校保健会補助金	20,000
13. 「江岸の子ら」編集補助	230,000
14. 江津市中学生英語ワークショップ事業費補助金	160,000
15. 小中学校資質向上研修補助	800,000
16. 江津市中学生職場体験事業補助金	120,000
17. 新教育課程実施に伴う補助金	558,000
18. 小学校外国語活動充実事業費	780,000
19. 中学校キャリア教育推進事業	1,000,000
20. 島根県科学作品展 (江津大会) 補助	50,000
合計	5,046,000

◎事業の効果

教育の充実は、直接の担い手である教員の資質能力に負うところが極めて大きい。そしてその能力は研修等を通じて生涯にわたり形成されていくものであり、本事業はその意味において重要である。

事業名	不登校等支援事業			予算科目	会計	01	一般会計		
					款	10	教育費		
	事業開始年度	平成	年度		事業進捗率	%	項	01	教育総務費
	担当部署	教育委員会			学校教育	課	目	02	事務局費
事業費 (A)				6,251,603 円	事業の目的・目標	あおぞら学園（旧跡市中学校）において、不登校及び不登校傾向の児童生徒の教育相談や学習支援を行い、学校生活への復帰を支援するとともに、不登校の中でも、家に引きこもっていることが多い児童生徒に対しては、家庭訪問や安心して過ごせる居場所を提供する等の支援を行い、学校復帰（社会復帰）のきっかけを作る。			
財源内訳	国庫支出金			円					
	県支出金			円					
	地方債			円					
	その他			5,000,000 円					
一般財源			1,251,603 円						

### 施策の内容、実績、及び効果

#### 1. 教育支援センター（適応指導教室）運営事業

##### ○事業の内容

- 運営体制 教育相談指導員（園長）1名・教科指導及び相談7名・指導員2名
- 開設場所 あおぞら学園（旧跡市中学校）
- 開設状況 曜日：月～金曜日 時間：9：30～16：00
- 主な内容 小・中学校との連携により、不登校の児童生徒及び保護者への効果的な支援を行い、学校への復帰を図った。

##### ○事業効果

- ・学校で居場所を失った児童生徒の居場所となっている。
- ・在籍校との連携により、通常の学校生活を送られるようになった児童生徒がいる。
- ・適応指導教室（あおぞら学園）へ通園すれば、指導要録上は出席扱いとなる。

#### 2. 心のかけ橋支援事業

##### ○事業の内容

- 運営体制 相談員1名・支援員2名（相談員が家庭訪問等で不在の時に対応）
- 開設場所 いっぱ（旧跡市中学校の教室を利用）
- 開設状況 曜日：水・金曜日 時間：13：00～16：00
- 主な内容
  - ①児童生徒への支援
    - ◎居場所づくり ・ ・ ・ あおぞら学園に通う児童生徒との交流。
    - ◎体験活動 ・ ・ ・ ・ ・ 自炊による宿泊、教室の美化（壁のペンキ塗り）、跡市保育所での保育ボランティア体験
    - ◎自立支援 ・ ・ ・ ・ ・ 就労支援（職場見学や体験）
  - ②保護者への支援
    - ◎相談・家庭訪問 ・ ・ ・ 保護者の思いや考えを聞き、今後の支援の方向を確認する。

##### ○事業効果

- ・家に引きこもりがちだった小・中学生を、あおぞら学園につなぐことが出来た。
- ・宿泊活動の共同生活体験を通して、仲間意識が高まった。
- ・保護者の悩みを聞き、同じ思いで支援することが出来た。

##### ●事業の実績

費目	決算額（円）	備考
報酬	570,000	園長（教育相談指導員報酬）
報償費	4,912,952	謝礼金（教科指導員・相談員・指導員・支援員）
旅費	185,950	生徒指導連絡会・他施設との交流会・家庭訪問等
需用費	271,991	消耗品・燃料費・光熱水費・修繕料
役務費	238,420	電話料・ネット利用料・汲取料・傷害保険料
使用料及び賃借料	19,930	コピー機パフォーマンス料
備品購入費	52,360	施設用備品（扇風機・ファンヒーター・デジタルカメラ）
合計	6,251,603	

事業名		学校司書等配置事業		予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成 21 年度	事業進捗率	%		項	01	教育総務費
担当部署	教育委員会	学校教育	課		目	02	事務局費
事業費			10,381,740 円	事業の目的・目標	児童生徒の読書活動の推進及び学校図書館の効果的な活用・運営を図るため、小・中学校に学校司書等の配置を行い、学校図書館機能の充実を目指す。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金	1/2・10/10	5,473,000 円				
	地方債		円				
	その他		4,808,293 円				
	一般財源		100,447 円				

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

市内小・中学校の規模（学級数）に応じて、すべての学校に学校司書等（司書資格を問わない）を配置し、児童生徒への本の紹介・アドバイス・リクエストへの対応、読み聞かせ等を行い、学校図書館機能の充実を図った。また、学校図書館を活用した授業の実施のための資料準備等を教員と連携して行った。

#### ○事業実施校 市内の全小・中学校

- ① ボランティア（6学級未満の学校）【配置時間 1時間/日×5日/週×35週】 3校  
跡市小学校・江東中学校・桜江中学校
- ② 学校司書等A（6学級～12学級未満の学校）【配置時間 5時間/日×5日/週×35週】 8校  
郷田小学校・渡津小学校・江津東小学校・川波小学校・高角小学校・桜江小学校・江津中学校・青陵中学校
- ③ 学校司書等B（12学級以上の学校）【配置時間 6時間/日×5日/週×52週】 1校  
津宮小学校

#### ○事業効果

学校司書等の配置により、児童生徒にとって学校図書館がより身近で親しみやすいものになってきた。学校司書等による学校図書館の整備（本の整理や掲示・レイアウトの工夫）や、本の貸し出し時間の延長により、図書館に通う児童生徒が多くなった。今年度は12校中10校が全校一斉読書（朝読書）に取り組み、学校での読書時間を確保している。

また、小・中学校ともに学校図書館を活用した授業の回数が増加の傾向にあり、学校司書と連携した授業時数も伸びが見られる。学校図書館を利用した年間指導計画書の作成をし、様々な教科で意識的に学校図書館を活用する方法を考えて授業計画を立てた成果と思われる。

#### ●事業の実績

費目	決算額（円）	備考
報酬	1,658,800	司書B報酬（1名）
共済費	277,830	雇用保険料・社会保険料・労災保険料
賃金	7,700,000	司書A賃金（8名）
謝礼金	660,000	ボランティア謝礼金（3名）
旅費	85,110	司書研修（浜田教育センター等）
合計	10,381,740	

事業名	スクールソーシャルワーカー活用事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成 24 年度	事業進捗率	%		項	01	教育総務費
担当部署	教育委員会	学校教育	課		目	02	事務局費
事業費		850,000 円		事業の目的・目標	不登校や問題行動等の課題を抱えた児童生徒の背景には、本人の心の問題だけでなく、複雑に絡み合った周囲の環境が影響していることが多いため、児童生徒の心に寄り添い支援するとともに、専門の関係機関と連携して家庭に働きかけ、状況の改善を図ることで健全な育成を図る。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金	10/10	850,000 円				
	地方債		円				
	その他		円				
	一般財源		0 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

●運営体制 スクールソーシャルワーカー 1名

●配置形態 派遣型  
・教育支援センター（おおぞら学園）に配置し、要請のあった学校に派遣し活動する。

●活用方法 教育委員会に駐在する指導主事と連携し、困難な状況を抱える児童生徒を把握するとともに、学校や家庭訪問を通して、状況の改善を図る。

●主な内容  
・問題を抱える児童生徒が置かれた環境への働きかけ  
・関係機関等のネットワークの構築、連携・調整  
・保護者に対する支援・相談、教職員への情報提供

○事業効果  
・家に引きこもりがちだった児童生徒の家庭を訪問し、家から出て、学校や適応指導教室、学齢期を超えた子については、社会生活に向かうようにした。  
・関係機関との会議や支援会議に参加し、児童生徒の保護者の状況を伝えることで、学校と児童生徒・保護者との橋渡しをした。  
・1人で悩んでいる保護者の苦しい思いを聞き、前向きな気持ちで子どもと向き合えるように支えた。  
・家庭環境が悪く、生活習慣が身につけていない生徒の家庭を関係課と連携し、環境を改善した。さらに、経済面での支えのため、就労支援を行い経済面での改善も図った。

●事業の実績

費目	決算額 (円)	備考
賃金	700,000	相談員 (1名) 賃金
旅費	64,100	家庭訪問・学校訪問・福祉施設訪問
需用費	1,224	消耗品
役務費	84,676	通信運搬費 (携帯電話利用料)
合計	850,000	

事業名	スクールバス運行事業（小学校）			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	02	小学校費
担当部署	教育委員会		学校教育		目	01	学校管理費
事業費（A）			31,730,144 円	事業の目的・目標	市内小学校の遠距離通学児童の通学手段を確保するため、スクールバスによる送迎を行う。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		円				
	その他		円				
	一般財源		31,730,144 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

●台数及び運行区域

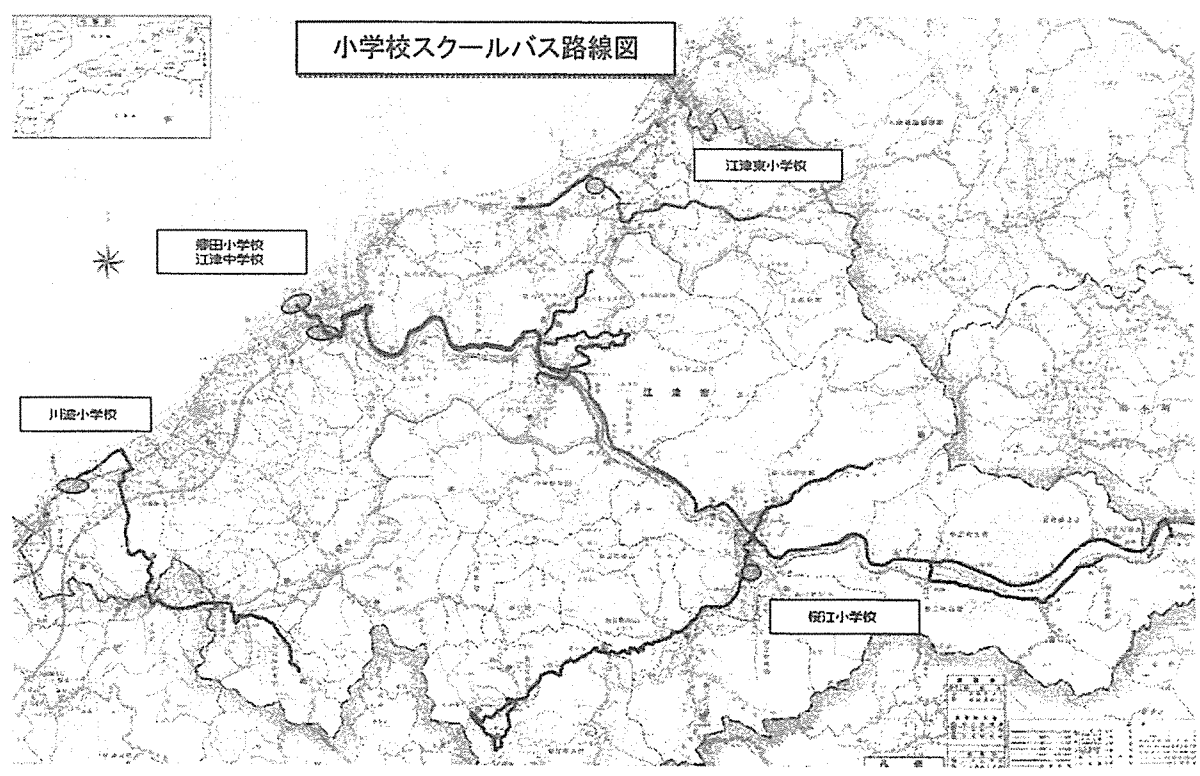
学校	台数	運行区域
郷田小	2	松川町、川平町
江津東小	2	黒松町、波積町、都治町、後地町、浅利町
川波小	1	有福温泉町
桜江小	4	桜江町

●経費内訳

・需用費	4,795,876 円	（燃料費、修繕料等）
・役務費	1,487,718 円	（車検手数料、保険料等）
・委託料	25,209,250 円	（スクールバス運行委託料）
・公課費	237,300 円	（自動車重量税）
計	31,730,144 円	

○事業の効果

郷田小学校区・江津東小学校区、川波小学校区、桜江小学校区の遠距離通学児童の安全を確保している。



事業名		特別支援学級運営費（小学校）			予算科目	会計	01	一般会計	
事業開始年度		平成	年度	事業進捗率		%	款	10	教育費
担当部署		教育委員会		学校教育			項	02	小学校費
				課			目	01	学校管理費
事業費（A）				1,284,344 円	事業の目的・目標	小学校に在籍する児童のうち、障がいにより特別な支援が必要な児童に対して、支援を行うもの。			
財源内訳	国庫支出金			円					
	県支出金			円					
	地方債			円					
	その他			円					
	一般財源			1,284,344 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

小学7校に設置している特別支援学級及び、津宮小学校に設置している通級指導教室（ことばの教室）において、障がいのある児童への支援を行った。

また、平成25年4月に桜江小学校に自閉症・情緒障がい特別支援学級を開設するにあたり、教室設備の改修や教材備品の整備を行った。

○事業の実績

費目	決算額（円）	備考
需用費	600,972	消耗品・燃料・
役務費	118,420	電話料・インターネット機器借上料・郵券代
使用量及び賃借料	15,262	コピー機使用料（通級教室）
備品購入費	549,690	通級教室・特別支援学級の教材備品・新設学級の教材備品
合計	1,284,344	



事業名		小学校施設耐震化事業			予算科目	会計	01	一般会計	
事業開始年度		平成	年度	事業進捗率		%	款	10	教育費
担当部署		教育委員会		学校教育		課	項	02	小学校費
							目	01	学校管理費
財源内訳	事業費				事業の目的・目標	大規模な地震により倒壊又は崩壊の危険性が高いとされる学校施設について、二次診断を行い、判定委員会の判定結果に基づきIs値0.7未満の施設については、補強設計・補強工事をおこなう。			
	国庫支出金	1/2	82,283,250 円						
	県支出金		27,406,000 円						
	地方債	100%	54,300,000 円						
	その他		円						
一般財源				577,250 円					

施策の内容、実績、及び効果

○ 事業内容

- ・ 耐震性能が劣ると判定された学校施設について、補強計画を策定し耐震補強工事を行う。  
※ 文部科学省所管『学校施設環境改善交付金事業』  
耐震補強実施校：高角小学校屋内運動場、江津東小学校屋内運動場
- ・ 耐震性能が劣ると判定され、補強計画を策定した施設において、耐震補強工事を実施する。  
※ 文部科学省所管『学校施設環境改善交付金事業』  
耐震補強実施校：高角小学校教室棟

○ 事業実績

	実施校	実施棟	支出額
判定委員会手数料	江津東小学校 高角小学校	屋内運動場 屋内運動場	241,500 189,000
2次診断業務委託			
補強計画設計業務	江津東小学校 高角小学校	屋内運動場 屋内運動場	5,460,000 4,389,000
工事監理業務	高角小学校	教室棟	1,995,000
耐震補強工事	高角小学校	教室棟	70,008,750
事務費			
合計			82,283,250

○ 事業効果等

2次診断を実施した『江津東小屋内運動場』、『高角小屋内運動場』は判定委員会の結果、両施設とも耐震性能が基準以下と確認され、耐震補強が必要と判定された。  
また、平成23年度に耐震補強計画を策定した『高角小教室棟』は、平成24年度耐震補強工事を実施し、耐震性能が確保された。

事業名	学力向上支援員配置事業（小学校）			予算科目	会計	01	一般会計		
					款	10	教育費		
	事業開始年度	平成	年度		事業進捗率	%	項	02	小学校費
	担当部署	教育委員会			学校教育	課	目	01	学校管理費
事業費（A）				6,742,982	円	事業の目的・目標	児童の個々のつまづきを早く見つけ、きめ細かな個別指導を行うことで、基礎的な学力の定着を図り、児童の学習意欲を高め、全国学力調査や島根県学力調査及び校内で行われる全校テスト等において学力の改善を促す。		
財源内訳	国庫支出金				円				
	県支出金				円				
	地方債	100%		6,700,000	円				
	その他				円				
一般財源				42,982	円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

児童一人ひとりの学力の最大限の伸長をめざし、個々のつまづきを早く見つけ、反復学習など丁寧な指導や発展的な学習内容の積極的な取り入れを行うために、小学校8校に学力向上支援員を配置した。

○事業の効果

- ・すべての児童が「分かる喜びと学ぶ楽しさ」を感じられるよう、学習の充実を図った。
- ・習熟出来ていない既習の内容も取り上げて個別に学習を進めていくことで、学習への意欲が高まった。

○事業の実績

費目	決算額（円）	備考
共済費	22,982	労災保険料
報償費	6,720,000	謝礼金（学力向上支援員19名）
合計	6,742,982	

事業名	特別支援教育支援員配置事業（小学校）			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	02	小学校費
担当部署	教育委員会		学校教育		課	目	01	学校管理費
事業費（A）				4,392,000 円	事業の目的・目標	小学校の通常の学級に在籍する「学習障がい（LD）・注意欠陥多動性障がい（ADHD）・高機能自閉症」等の障がいを持つ児童に対して、特別支援教育支援員を配置して、学校生活上の介助や学習活動の支援を行う。		
財源内訳	国庫支出金			円				
	県支出金			円				
	地方債			円				
	その他			円				
	一般財源			4,392,000 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

平成18年6月の学校教育法の一部改正に基づき、小学校に在籍する発達障がい等により教育的な支援が必要な児童に対して、学校における日常生活上の介助や、学習活動上の支援を行うために、小学校8校に特別支援教育支援員を配置した。

○事業の効果

- ・学習や活動の流れや手順、担任の指示等が対象児によく伝わり、児童が安心感や見通しを持って学習や活動に取り組むことが出来た。
- ・個に応じた支援を行うことで、学習や行事等に対象児なりにかかわることが出来、満足感や達成感を味わうことが出来た。
- ・担任とは違った視点で児童を見守ることで、担任には気付かなかった子どもの心の動きや様子に気付くことが出来た。

○事業の実績

費目	決算額（円）	備考
報償費	4,392,000	謝礼金（特別支援教育支援員12名）

事業名	学校校内LAN整備事業（小学校）			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成 23 年度	事業進捗率	100 %		項	02	小学校費
担当部署	教育委員会	学校教育	課		目	01	学校管理費
事業費（A）		14,778,360 円		事業の目的・目標	教職員間の諸連絡や文書の共有化など校内LANにより情報化をすすめることにより校務の迅速化、効率化を図る。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		円				
	その他		円				
一般財源		14,778,360 円					

施策の内容、実績、及び効果 ※繰越事業

○事業の内容

江津市立小学校8校125人の教職員に各1台パソコン（ワード、エクセル、パワーポイント、一太郎、ウイルス対策ソフト等内臓）、校内無線LAN等を整備し、併せてセキュリティーUSBメモリを導入する。

○事業の効果

公務に係る私用パソコン、記憶媒体等の使用を禁止し、児童・生徒等に係る個人情報保護の徹底化、教職員の教材・出席簿・通知表・学籍簿等の作成・管理に係る事務作業量の軽減化、教育充実の一助としてインターネット検索利用化を図る。

○各学校の整備状況

学校名	パソコン（台）	USBメモリ（個）
郷田小学校	14	8
渡津小学校	15	9
江津東小学校	15	8
跡市小学校	6	3
川波小学校	15	8
津宮小学校	25	15
高角小学校	19	10
桜江小学校	16	7
合計	125	68

○事業の実績

費目	決算額（円）	備考
委託料	14,778,360	業務委託料

事業名		小学校教育振興費		予算科目	会計	01	一般会計		
事業開始年度		平成	年度		事業進捗率	%	款	10	教育費
担当部署		教育委員会			学校教育	課	項	02	小学校費
事業費(A)		40,265,303			円	目	02	教育振興費	
財源内訳	国庫支出金			円	事業の目的・目標 小学校教育の振興のため、経済的事 情により就学困難な児童及び特別支援 学級へ就学する児童への援助、図書や 教材の購入を行う、また学校のコン ピュータの整備等を行う。				
	県支出金		804,000	円					
	地方債			円					
	その他		17,404,000	円					
	一般財源		22,057,303	円					

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

#### ●学校就学援助事業

区分	決算額(円)	備考
学用品費等	2,931,253	対象人員 156人 学用品費・通学用品費・新入学用品費・校外活動費・修学旅行費
学校給食費	7,341,758	対象人員 155人
学校医療費	273,883	対象人員 42人
特別支援教育費	575,973	対象人員 16人
	11,122,867	

#### ●小学校教育用コンピュータ整備事業

市内10小学校に、パーソナル・コンピュータ、ソフト等をリースで設置した。  
パソコンの基本操作に慣れ、インターネット等を使って必要な情報を収集して学習に役立てた。  
・コンピューター借上料 17,871,840円

#### ●その他

費目	決算額(円)	備考
報償費	349,730	入学祝い・卒業記念品
需用費	2,175,061	消耗品 743,911円 社会科副読本 1,431,150円(私たちの江津 700冊)
役務費	60,243	オーヂオメータの検査手数料(4台)
備品購入費	8,680,062	図書購入費 2,298,968円・教材購入費 6,381,094円
負担金補助及び交付金	5,500	遠距離通学費補助
合計	11,270,596	

事業名	スクールバス運行事業（中学校）				予算科目	会計	01	一般会計
						款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率	%		項	03	中学校費
担当部署	教育委員会		学校教育	課		目	01	学校管理費
事業費（A）				14,785,200 円	事業の目的・目標	市内中学校の遠距離通学生徒の安全な通学を確保するため、スクールバスによる送迎を行う。		
財源内訳	国庫支出金			円				
	県支出金			円				
	地方債			円				
	その他			1,129,710 円				
	一般財源			13,655,490 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

●台数及び運行区域

学校	台数	運行区域
江津中	※	松川町、川平町
青陵中	2	跡市町、千田町、井沢町、清見町、有福温泉町
桜江中	1	桜江町

※江津中は小学校のスクールバスを利用

●住民利用

- ・利用車両 桜江中バス
- ・区間 川戸駅～風の国
- ・利用者数 5,132人
- ・運賃収入 1,129,710円

●経費内訳

- ・需用費 2,553,140 円（燃料費、修繕料等）
- ・役務費 517,990 円（車検手数料等）
- ・委託料 11,641,350 円（スクールバス運行業務委託料）
- ・公課費等 72,720 円（自動車重量税等）
- 計 14,785,200 円

●事業の効果

江津中学校区、青陵中学校区及び桜江中学校区の遠距離通学生徒の安全な通学を確保している。また、桜江地区住民の交通手段を確保することで、日常生活の利便性が図られている。



事業名		特別支援学級運営費（中学校）			予算科目	会計	01	一般会計	
						款	10	教育費	
事業開始年度		平成	年度	事業進捗率		%	項	03	中学校費
担当部署		教育委員会		学校教育		課	目	01	学校管理費
事業費（A）				389,337 円	事業の目的・目標	中学校に在籍する生徒のうち、障がいにより特別な支援が必要な生徒に対して、支援を行うもの。			
財源内訳	国庫支出金			円					
	県支出金			円					
	地方債			円					
	その他			円					
	一般財源			389,337 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

中学校4校に設置している特別支援学級及び、青陵中学校に設置している通級指導教室（ことばの教室）において、障がいのある生徒への支援を行った。

○事業の実績

費目	決算額（円）	備考
需用費	247,039	消耗品・燃料費
役務費	5,000	郵券代
備品購入費	137,298	教材備品
合計	389,337	

事業名		学力向上支援員配置事業（中学校）			予算科目	会計	01	一般会計
						款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率	%		項	03	中学校費
担当部署	教育委員会		学校教育	課		目	01	学校管理費
事業費（A）		5,054,350 円			事業の目的・目標	生徒の個々のつまづきを早く見つけ、きめ細かな個別指導を行うことで、基礎的な学力の定着を図り、生徒の学習意欲を高め、全国学力調査や島根県学力調査及び校内で行われる全校テスト等において学力の改善を促す。		
財源内訳	国庫支出金			円				
	県支出金			円				
	地方債	100%	5,000,000 円					
	その他			円				
	一般財源			54,350 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

生徒一人ひとりの学力の最大限の伸長をめざし、個々のつまづきを早く見つけ、反復学習など丁寧な指導や発展的な学習内容の積極的な取り入れを行うために、中学校4校に学力向上支援員を配置した。

○事業の効果

- ・すべての生徒が「分かる喜びと学ぶ楽しさ」を感じられるよう、学習の充実を図った。
- ・習熟出来ていない既習の内容も取り上げて個別に学習を進めていくことで、学習への意欲が高まった。

○事業の実績

費目	決算額（円）	備考
共済費	14,350	労災保険料
報償費	5,040,000	謝礼金（学力向上支援員12名）
合計	5,054,350	



事業名		特別支援教育支援員配置事業（中学校）		予算科目	会計	01	一般会計		
事業開始年度		平成	年度		事業進捗率	%	款	10	教育費
担当部署		教育委員会			学校教育	課	項	03	中学校費
事業費（A）							目	01	学校管理費
財源内訳	国庫支出金			2,016,000	円	事業の目的・目標 中学校の通常の学級に在籍する「学習障がい（LD）・注意欠陥多動性障がい（ADHD）・高機能自閉症」等の障がいを持つ生徒に対して、特別支援教育支援員を配置して、学校生活上の介助や学習活動の支援を行う。			
	県支出金				円				
	地方債				円				
	その他				円				
	一般財源			2,016,000	円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

平成18年6月の学校教育法の一部改正に基づき、中学校に在籍する発達障がい等により教育的な支援が必要な生徒に対して、学校における日常生活上の介助や、学習活動上の支援を行うために、中学校4校に特別支援教育支援員を配置した。

○事業の効果

- ・精神面に不安がある生徒に対して、休憩時間や放課後にも側についてサポートを行うことで、安心して学校生活を送ることが出来た。
- ・支援員が個別に指示を与えたり、成果を認めることで、落ち着いて学習することが出来るようになった。

●事業の実績

費目	決算額（円）	備考
報償費	2,016,000	謝礼金（特別支援教育支援員6名）

事業名		学校校内LAN整備事業（中学校）			予算科目	会計	01	一般会計																								
						款	10	教育費																								
事業開始年度	平成 23 年度	事業進捗率	100	%		項	03	中学校費																								
担当部署	教育委員会	学校教育	課			目	01	学校管理費																								
事業費 (A)		8,722,110 円			事業の目的・目標	教職員間の諸連絡や文書の共有化など校内LANにより情報化をすすめることにより校務の迅速化、効率化を図る。																										
財源内訳	国庫支出金			円																												
	県支出金			円																												
	地方債			円																												
	その他			円																												
一般財源			8,722,110 円																													
<p>施策の内容、実績、及び効果 ※繰越事業</p> <p>○事業の内容</p> <p>江津市立中学校4校76人の教職員に各1台パソコン（ワード、エクセル、パワーポイント、一太郎、ウィルス対策ソフト等内臓）、校内無線LAN等を整備し、併せてセキュリティーUSBメモリを導入する。</p> <p>○事業の効果</p> <p>公務に係る私用パソコン、記憶媒体等の使用を禁止し、児童・生徒等に係る個人情報保護の徹底化、教職員の教材・出席簿・通知表・学籍簿等の作成・管理に係る事務作業量の軽減化、教育充実一助としてインターネット検索利用化を図る。</p> <p>○各学校の整備状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>パソコン（台）</th> <th>USBメモリ（個）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>江津中学校</td> <td>26</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>江東中学校</td> <td>12</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>青陵中学校</td> <td>26</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>桜江中学校</td> <td>12</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>76</td> <td>38</td> </tr> </tbody> </table> <p>○事業の実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>費目</th> <th>決算額（円）</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>8,722,110</td> <td>業務委託料</td> </tr> </tbody> </table>									学校名	パソコン（台）	USBメモリ（個）	江津中学校	26	13	江東中学校	12	6	青陵中学校	26	13	桜江中学校	12	6	合計	76	38	費目	決算額（円）	備考	委託料	8,722,110	業務委託料
学校名	パソコン（台）	USBメモリ（個）																														
江津中学校	26	13																														
江東中学校	12	6																														
青陵中学校	26	13																														
桜江中学校	12	6																														
合計	76	38																														
費目	決算額（円）	備考																														
委託料	8,722,110	業務委託料																														

事業名	中学校教育振興費			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	03	中学校費
担当部署	教育委員会		学校教育		課	目	02	教育振興費
事業費 (A)			31,541,334 円		事業の目的・目標	中学校教育の振興のため、経済的事 情により就学困難な生徒及び特別支援 学級へ就学する生徒への援助及び図書 や教材の購入を行う。		
財源内訳	国庫支出金			円				
	県支出金			370,000 円				
	地方債			円				
	その他			12,000,000 円				
	一般財源			19,171,334 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

●中学校就学援助事業

区分	事業費	備考	
学用品費等	4,350,250	対象人員	95 人
学校給食費	4,885,720	対象人員	94 人
学校医療費	135,038	対象人員	11 人
特別支援教育費	346,041	対象人員	7 人
合計	9,717,049		

●中学校教育用コンピュータ整備事業

市内4中学校に、パーソナル・コンピュータ、ソフト等をリースで設置した。  
パソコンの特性を踏まえ、インターネット等からの情報を学習に有効に役立てた。  
・コンピュータ借上料 12,092,010円

●その他

費目	決算額 (円)	備考
報償費	202,740	卒業記念品
需用費	1,379,094	消耗品 1,079,194円・楽器の修繕料 299,900円
役務費	1,481,840	桜江中学校遠距離通学生徒定期券代 (JR) 492,840円 バスケットボールコート引替え手数料 (4校) 989,000円
備品購入費	6,649,401	図書購入費 1,749,074円 教材購入費 4,900,327円 (うち、楽器購入 1,019,990円)
負担金補助及び交付金	19,200	遠距離通学費補助
合計	9,732,275	

事業名		公民館費		予算科目	会計	01	一般会計		
事業開始年度		平成	年度		事業進捗率	%	款	10	教育費
担当部署		教育委員会			社会教育		項	05	社会教育費
							目	02	公民館費
事業費 (A)				69,938,588 円	事業の目的・目標	公民館は地域における中心的施設であり、住民のニーズ、また、課題解決に向けた活発な公民館活動の展開を図り、施設の管理・運営を行う。			
財源内訳	国庫支出金			円					
	県支出金			円					
	地方債			円					
	その他			1,458,456 円					
一般財源			68,480,132 円						
<b>施策の内容、実績、及び効果</b> ○事業の内容 公民館の運営管理 ○事業の実績 ・人件費 50,524,279 円									
		金額	備考						
報酬費	44,428,600	館長、分館長、主事							
共済費	5,094,961	雇用保険料、社会保険料							
賃金	709,878	生涯学習センター清掃員賃金							
旅費	290,840	職員会議、市民スポーツ祭、公民館研究集会等							
・物件費	17,179,975 円								
		金額	備考						
需用費	9,347,914	消耗品費、燃料費、印刷製本、光熱水費							
役務費	2,725,041	通信運搬費、手数料、火災保険料							
委託料	2,061,475	消防設備、防火対象物、浄化槽管理							
使用料及び賃借料	2,401,795	土地借地料(清見分館、嘉久志)CATV、テレビ視聴料							
備品購入費	118,750	DVDプレイヤー(都治)、ストーブ(跡市)							
負担金及び交付金	525,000	和木下水道負担金、防火管理者研修負担金、県公運負担金、石見体験楽舎補助金							
・工事費等	2,234,334 円								
	営繕工事費	修繕費	補修材料費	内 容					
波積公民館		32,707		電話修繕、ガラス・網戸修繕					
黒松公民館		227,850		地域マネ室床修繕、水道修繕、外灯修繕					
都治公民館				ガス栓増設、浄化槽修繕					
浅利公民館		8,610		樋修繕					
松川公民館		21,000		ガラス・網戸修繕					
上津井ふれあいセンター									
川平公民館		45,360		舞台壁修繕、集会室床修繕					
渡津公民館		71,340		浄化槽修繕、電気工事、外灯修繕×2					
郷田公民館									
島の星分館		49,350		トイレ照明修繕					
金田公民館			43,067	庭真砂、手すり設置材料					
嘉久志公民館		179,550		消防設備修繕、女子トイレ修繕					
和木公民館	813,750	22,725		下水道工事、パソコン室鍵修繕、蛍光灯修繕					
都野津公民館		68,382		浄化槽修繕、ガラス修繕、集会室窓ワイヤー修繕					
二宮公民館		212,562		消防設備修繕、浄化槽修繕、自動ドア修繕、ブラインド修繕、陳列棚修繕					
跡市公民館		80,510		樋修繕、外灯修繕、トイレ修繕、エアコン修繕					
旧跡市中学校									
敬川公民館		21,000		消防設備修繕					
波子公民館		21,525		消防設備修繕、ガス栓修繕					
有福温泉公民館		64,050		和室天井修繕、外灯修繕					
長谷公民館		65,621		体育館ガラス修繕、水道漏水修繕、コピー機修繕					
市山公民館									
川戸公民館		142,800		消防設備修繕、2Fトイレ修繕					
谷住郷公民館		22,575		消防設備修繕					
川越公民館		20,000		床下点検口修繕					
合計	813,750	1,377,517	43,067						
○事業の効果 いつでも安全に快適に使用できる公民館の施設管理を行い、利用者に怪我もなく、社会教育の推進に寄与できる管理ができた。									

事業名	公民館活動支援事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	05	社会教育費
担当部署	教育委員会		社会教育		課	目	02	公民館費
事業費 (A)			2,662,000 円	事業の目的・目標	公民館ごとに地域の特性を活かしながら行う公民館活動を支援する。			
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		円					
	地方債		円					
	その他		円					
	一般財源		2,662,000 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容、実績

公民館名	H24年度事業の中、特に公民館が力を入れた2事業	
波積公民館	文化祭	江東4地区交流会
黒松公民館	高齢者教室	江東4地区交流会
都治公民館	ふれあいフェスティバル	文化祭
浅利公民館	ふるまい向上事業の取り組み	地域交流
松川公民館	祝中学校卒業テーブルマナー講習会	校庭草刈、整備
川平公民館	花田植え	しめ縄づくり
渡津公民館	地域振興懇談会	春・夏・冬休み子どもの集い
郷田公民館	江津子どもホーランエー育成会	中国語講座
金田公民館	ふれあい農業体験塾	健康教室
嘉久志公民館	郷土学習講座	子育て支援(子育て広場～きしゃぼぼ～)
和木公民館	エコクリーン作戦	国際交流事業(ロシア祭り、古切手・はがき支援)
都野津公民館	町内寺社遊歩道歩きの保存用アルバム製作	-
二宮公民館	公民館敷地周辺草刈作業	第2回ワークショップin二宮
跡市公民館	花田植え	とんどまつり
敬川公民館	ちぎり絵・絵手紙教室	若者の会 地域の草刈
波子公民館	まちづくり・地域づくり	伝統文化の継承者の育成
有福温泉公民館	青少年育成事業(学校振休支援・家庭支援)	クリスマスふれあい音楽会
長谷公民館	公民館祭り	振替休日支援事業(わくわく広場)
市山公民館	振休支援事業「ふりきゅうクラブ」	さくらえプレーパーク
川戸公民館	出前講座	公民館交流会
谷住郷公民館	谷住郷を語ろう会	振休支援事業「すみえっこクラブ」
川越公民館	館報発行	校庭草刈、整備

○事業の効果

各公民館で計画し、実施する地域課題解決への公民館活動を支援した。  
 地域の実情に沿った取り組みは、地域での社会教育、地域振興に寄与した。

事業名	図書館運営事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率	%	項	05	社会教育費
担当部署	教育委員会		社会教育	課	目	03	図書館費
事業費 (A)			21,961,619 円		事業の目的・目標	市民の文化教養を高めるため、情報化時代にふさわしい多種の図書資料を収集整備し、市民に自由で公平な利用ができる場を提供する。	
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		円				
	その他		129,500 円				
	一般財源		21,832,119 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容、実績

節	金額	備考
報酬	20,400	図書館協議会委員報酬
旅費	38,200	図書館協議会委員旅費、全国図書館大会島根大会旅費
需用費	2,020,032	光熱水費1,390,032円 修繕料630,000円
役員費	15,087	自動車損害保険料
委託料	18,287,900	指定管理料18,227,000円 桜江分館清掃業務60,900円
備品購入費	1,550,000	図書購入費
負担金及び交付金	30,000	島根県公共図書館協議会会費等
合計	21,961,619	

●蔵書冊数

区分	蔵書冊数	受入図書	廃棄図書	平成24年度末	蔵書冊数
本館	63,874 冊	1,429 冊	904 冊		64,399 冊
桜江分館	15,966 冊	296 冊	270 冊		15,992 冊
計	79,840 冊	1,725 冊	1,174 冊		80,391 冊

●利用状況

区分	本館	桜江分館	移動図書	計
開館日数	284 日	284 日	11 日	
入館者数	14,348 人	4,660 人		19,008 人
利用者数	10,344 人	2,002 人	143 人	12,489 人
登録者数	1,249 人	308 人	13 人	1,570 人
貸出冊数	42,651 冊	6,359 冊	327 冊	49,337 冊

●文化活動

講座等	会員数	開催日数	開催期日 または定例日
古文書入門講座	18 人	12 回	毎月第3土曜日 14:00~16:00
古文書を読む会	18 人	11 回	毎月第1土曜日 14:00~16:00
歴史を楽しむ会	10 人	11 回	毎月第2月曜日 14:00~16:00
本と子育て「雑談」会	5 人	11 回	毎月第3水曜日 14:00~16:00
あすなる読書会	6 人	11 回	毎月第2木曜日 14:00~16:00

●その他

・催し

9月30日(日) 江津市図書館まつり 参加延 110人  
7月29日(日) 江津市図書館桜江分館まつり 参加 30人

・広報活動

蔵書紹介紙「今月のこの一冊」の発行 年6回  
図書館報「洗心」・新着図書案内の発行 年11回  
市広報「かわら版」への図書館ガイドを掲載 12回  
ツイッターでの情報発信開始(5月より)

・研修生、実習生、ボランティアの受入れ

職場体験：中学生4名 高校生：5名  
ふれジョブ職場体験活動：中学生2名  
ボランティア：読み聞かせ(延べ12名)、事務補助(本館4名)

・学校司書への協力

学校図書館支援図書(県寄託)等でのサポート

○事業の効果

図書館環境整備の充実、文化活動への支援、広報活動等を通じて、市民、利用者への意識が高まり、図書館利用者への増加につながっている。

事業名	社会人権・同和教育事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	05	社会教育費
担当部署	教育委員会		人権同和教育		目	04	社会人権同和教育費
事業費(A)			3,687,994 円	事業の目的・目標	同和問題をはじめとする人権問題を市民一人ひとりが、正しく理解し自らの問題として捉え、早期解決が図られるよう「差別をしない」「差別をさせない」「差別を許さない」心情と態度を育てる。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		円				
	その他		5,341 円				
	一般財源		3,682,653 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

概要	決算額
<p>●社会・人権同和教育事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権・同和教育指導員の設置（社会教育指導員1名）</li> <li>・人権・同和教育推進協議会の開催（6月28日）</li> <li>・県人権・同和教育推進協議会連合会、研究集会、研修会等参加</li> <li>・人権・同和教育研修会の開催（市職員研修等）</li> <li>・教育集会所（波来浜ふれあい集会所）管理・運営等</li> </ul>	3,458,994
<p>●人権・同和教育推進事業</p> <p>人権・同和問題解決のための教育・啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権・同和教育講演会 講演：8月9日島根県石見地域地場産業センター（参加者数：200人） 演題：「私の歩んだ道」 講師：落合政輝さん（浜原隣保館 館長）</li> <li>・人権・同和教育講演会 講演：2月5日桜江コミュニティセンター（参加者数：120人） 演題：「いじめ・いのち・なかま」 講師：飯開輝久雄さん（熊本県合志市在住）</li> <li>・人権啓発カレンダーの作成・配布 計2,200枚 （小・中学生、公民館、関係機関等）</li> </ul>	
<p>●人権・同和教育推進公民館活動事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3館に委託（谷住郷・浅利・跡市公民館）</li> </ul>	180,000
●諸会議負担金（研修会参加負担金）	18,000
●島根県同和教育推進協議会連合会負担金	31,000
合計	

○事業の成果

社会人権・同和教育の推進において、人権・同和教育推進協議会を中核とする事業を展開した。公民館活動による地域学習と学校人権・同和教育との連携により、相乗効果が図られた。

事業名	人権教育推進事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	05	社会教育費
担当部署	教育委員会	人権同和教育課	%		目	04	社会人権同和教育費
事業費 (A)						673,352 円	事業の目的・目標 人権尊重、自由平等の精神を基盤に人権・同和問題を正しく理解し、市民一人ひとりが、自らの課題として捉え、早期解決が図られるよう「差別しない」「差別させない」「差別は許さない」心情と態度を育てる。
財源内訳	国庫支出金				円		
	県支出金				円		
	地方債				円		
	その他				円		
	一般財源				673,352 円		

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

概要	決算額
<p>●人権教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権を考えるつどい、みんなで考える人権のつどい（巡回講演会） 地域別人権問題研修会、人権同和教育担当者等研修会等の開催</li> <li>・人権啓発展の開催</li> </ul> <p>●人権教育推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで考える人権のつどい開催 期間：6月～3月 会場：市内22地区公民館（参加者数延べ：491人） 演題：「暮らしの中の人権 ～支え合って共に生きる～」 講師：二又 茂樹さん（社会教育指導員）</li> <li>・地域別人権問題研修会の開催 演題：「いじめ・いのち・なかま」 講師：飯開輝久雄さん（熊本県合志市） ：11月26日 青陵中学校（参加者数延べ：600人） ：11月26日 江東中学校 ：11月30日 江津中学校 ：2月5日 桜江中学校</li> <li>講演：9月24日 桜江小学校（15人） 演題：「これからの同和教育のあり方」 講師：村田春樹さん（竹タックの会） 講演：12月7日 郷田小学校（15人） 演題：「異文化理解をとおしておもいやりの心を育てる」 講師：福島明淑さん 講演：1月22日 川波小学校（60人） 演題：「ホンモノの中で感性は育つ ～人権感覚を磨くためには～」 講師：稲田彰さん 講演：2月25日 高角小学校（17人） 演題：「差別の現実に深く学ぶ」 講師：村田春樹さん（竹タックの会）</li> </ul>	<p>講師謝礼金：335,000円 旅 費：39,600円 消耗品費：190,139円 講師食糧費：3,957円 通信運搬費：10,000円</p> <p>578,696</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権啓発作品展の開催 期間：12月1日～9日 会場：市総合市民センター（エントランスホール） 内容：人権イラスト・作文・メッセージの展示 表彰式：各学校</li> </ul> <p>消耗品費：94,656円（応募作品記念品等）</p>	<p>94,656</p>
合計	673,352

○事業の効果

市内公民館22館をくまなく巡回する講演会と地域別人権問題研修会により、より一層の人権教育の推進が図られた。



事業名		社会教育活動費		予算科目	会計	01	一般会計		
事業開始年度		平成	年度		事業進捗率	%	款	10	教育費
担当部署		教育委員会			社会教育	課	項	05	社会教育費
事業費(A)					859,858 円		目	06	社会教育活動費
財源内訳	国庫支出金			円	事業の目的・目標	生涯の各時期にわたって幅広く学習活動ができるよう、市民の学習要求を満たし、自己啓発がすすめられる集団学習と地域活動を奨励する。			
	県支出金			円					
	地方債			円					
	その他			円					
	一般財源			859,858 円					

施策の内容、実績、及び効果

1 出前講座 99,858 円

○事業の内容

●出前講座

市民が受講したい内容をメニュー表から選び、市職員・公的機関職員等が講師となり地域へ出かけお話しする。

○事業の実績

●実施件数および参加者数

192件 5,284人 (平成23年度 194件 4,257人)

○事業の効果 【受講者・アンケートより】

公証人の方と初めてお会いし、今後心配事があった時相談し易くなったように思われます。親の介護をする年齢になりましたので、今日の話参考にしたいと思います。ふるさと発見を受講し、人麻呂とよさみ姫という歴史的・教育的資源をふるさと教育の視点から、大切にしたい行きたいと強く感じました。フットケアの話聞き、ASO・糖尿病等との深い関係があることを知りました。常に足を清潔に保つように心がけます。普段から防災意識を高めるために非常に有意義でした。

○事業費の内訳

印刷製本費(出前講座メニュー表)	68,250 円
消耗品費	19,608 円
通信運搬費	12,000 円
計	99,858 円

2 地域活動支援事業 760,000 円

○事業の内容

女性の目から見た地域課題の研修や人づくり・地域づくりのための学習活動で、討議、実験演習、見学など幅広い活動を行う。

○実施主体

江津市連合婦人会、各地域18婦人会

○事業の実績

●実施件数および参加者数

78回 3,883人 (研修12回、レク活動9回、伝統芸能5回、学習会7回、祭企画13回、環境保護14回、交流会18回)

○事業の効果 【取り組み事例】

地域の人との研修会を行い会員でのダンボールポストに挑戦しゴミを減らす運動を行った【高浜】  
 伝統文化の研修、安心安全な生活基盤づくりへの研修を行い地域の方々に喜ばれた【和木】  
 水質保全を目的とした石鹸作りと、全戸に配布するゴキブリ団子づくりにより家庭を清潔にする活動をした【跡市】  
 桜江地域における、伝統的な魅力ある行事を続けて行い会員が積極的に交わり、いきいきと活動することで、お互いを知り、助け合い、人とのつながりが深まった【桜江】

○事業費の内訳

委託料(各地区へ20,000円、連合会400,000円)	760,000 円
------------------------------	-----------

事業名	ふるさと教育推進事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	05	社会教育費
担当部署	教育委員会		社会教育		課	目	06	社会教育活動費
事業費 (A)						1,809,000	円	
財源内訳	国庫支出金						円	
	県支出金	100%				1,809,000	円	
	地方債						円	
	その他						円	
	一般財源						円	
事業の目的・目標								
学校と家庭とが一体となり、ふるさとの人とのふれあい、自然・歴史・文化・伝統行事・産業等の教育資源を活用した授業や地域での体験活動を通して、子どもたちの豊かな人間性や社会性、ふるさとを大切にする心の育成を図る。								

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

全小中学校において実施した。  
 地域講師による授業が充実し、長年にわたり積み重ねられた学習が生かされてきた。地域の「ひと・もの・こと」に直接関わりながら、それぞれの学校で独特な活動を展開。  
 小学校では主に、地域に向き、人や自然に触れたり、施設を訪ね現状を見聞きし、地域の人とのふれあいのなかで、自分たちのふるさとについて学ぶ。  
 中学校では主に、地域の職場を見学したり、実際に業務の一部を体験することで、ふるさとの地場産業に触れ、地域の課題や社会の問題を知ること、自身の将来設計を考えることにつながり、学習意欲の向上を図る。

#### ○事業の効果

- ・地域とのふれあい、児童生徒の学習内容の多様化に寄与した。
- ・地域の伝統芸能や、伝統文化の保存・伝承に携わる方に、発表の場を設ける事ができ、今後の活動の活力へつなぐことができた。
- ・ふるさと教育に関わる地域の方も、子どもの成長を目の当たりにして、社会貢献の大切さや、やりがいを実感できた。
- ・ふるさと江津への愛着を深める活動になった。

	報償費	旅費	図書購入費※1	活動経費	計
郷田小学校	3,600	0	19,000	66,400	89,000
渡津小学校	20,400	0	50,000	49,600	120,000
江津東小学校	14,000	0	50,000	56,000	120,000
跡市小学校	18,000	0	50,000	52,000	120,000
川波小学校	21,000	0	50,000	49,000	120,000
津宮小学校	21,000	0	50,000	49,000	120,000
高角小学校	21,600	0	50,000	48,400	120,000
桜江小学校	18,600	0	50,000	51,400	120,000
江津中学校	5,100	8,280	50,000	56,620	120,000
江東中学校	10,800	0	50,000	59,200	120,000
青陵中学校※2	38,000	14,660	80,000	87,340	220,000
桜江中学校	20,000	0	50,000	50,000	120,000
江津市図書館			200,000		200,000
地域連携事業※3	96,340			3,660	100,000
				計	1,809,000

講師等謝金	研修会旅費等	ふるさと調べ学習	消耗品・教材材料費等
-------	--------	----------	------------

- ※1 ふるさと学習のための図書購入を単年度事業で実施。  
 ※2 青陵中学校は、「地域医療講演会」と、地域医療に係る調べ学習を実施。  
 ※3 ふるさと教育を推進するうえで必要な「学校・家庭・地域の連携・協力」を促進するための研修会を実施。

事業名		学校支援地域本部事業		予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成 20 年度	事業進捗率	%		項	05	社会教育費
担当部署	教育委員会	社会教育	課		目	06	社会教育活動費
事業費 (A)			891,000 円	事業の目的・目標	「学校・家庭・地域」が連携し、地域ぐるみの学校支援体制を構築し、子どもたちの健全な発育に資することを目標とする。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金	2/3	594,000 円				
	地方債		円				
	その他		円				
	一般財源	1/3	297,000 円				

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

近年の度重なる青少年の凶悪犯罪や、いじめ、不登校など、青少年をめぐる様々な問題が発生している背景として、地域における地縁的なつながりの希薄化や個人主義の浸透などによる、いわゆる「地域の教育力の低下」が指摘されている。また、学校教育においては、教育活動以外等の業務が増加しており、教員の業務量の増加が問題となっており、教員の勤務負担を軽減するなど、積極的に時間外勤務を縮小し、教員が子ども一人ひとりに対するきめ細やかな指導の時間の確保が課題となっている。

これらを踏まえ、地域全体で「次世代を担う子ども」の学校の教育活動や放課後の活動を支援するため、学校・家庭・地域の連携体制の構築を図り、多様な支援を可能とし、学校・家庭・地域が三位一体となって子どもと向き合う時間の拡充を図る。

#### ○事業の実績

##### 1. 地域教育協議会の開催

【第一回：7/13、第二回：3/1】

①子どもプラン運営委員会、地域教育協議会、ふるさと教育地域連絡協議会の合同開催

##### 2. 各小中学校におけるの学校支援ボランティアへの取組み

①学習支援活動のボランティア紹介、学校に関わる地域の人材ほりだし。

②部活動指導、クラブ活動指導の人材紹介

③登下校時の安全指導員の調整

④学校環境整備活動の人員確保

⑤放課後子ども教室との連携

⑥ふるさと教育の講師・ボランティアの紹介

##### 3. コーディネーター等連絡会議

【第一回：9/24、第二回：3/22】

①学校支援地域コーディネーター、放課後支援コーディネーター、親学ファシリテーターの合同連絡会議を開催

②内容は、全体の事業推進状況の説明と情報交換とグループワークを実施

・支援活動事業数：合計 630日

・参加人数(延べ)：合計2,279人

#### ○事業の効果

- ・地域とのふれあいで、児童生徒の学習内容の多様化に寄与した。
- ・教員の地域との連絡調整、総合学習の準備等の軽減を図れた。
- ・地域における学校への支援活動の認識を高め、体制づくりを促進した。

#### ○事業費の内訳

区分	運営委員会設置の経費	教育支援活動の経費	計	内容
諸謝金	42,500	636,800	679,300	運営委員会謝金、コーディネ活動謝金
旅費	13,240		13,240	研修会、地域協議会出席者旅費
消耗品費		146,890	146,890	会議資料紙代等消耗品
通信運搬費	9,200	28,700	37,900	ボランティア連絡用切手
借料及び損料	13,670		13,670	研修会会場借上料
計	78,610	812,390	891,000	

事業名		未来を拓く江津塾事業		予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成 22 年度	事業進捗率	%		項	05	社会教育費
担当部署	教育委員会	社会教育	課		目	06	社会教育活動費
事業費 (A)			3,199,350 円	事業の目的・目標	地域において、伝統文化や伝統芸能、また、地域独特の産業に携わる方々に、それを継承する場を学社融合の理念から学校に設ける。また、江津市の子どもたちに体験型、実験型コンテンツを用いて、科学を通じた人間教育・人材育成を行うとともに、江津で生まれた子どもは地域で育て地域で生かすという「ふるさと教育」の推進を図る。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債	100%	3,100,000 円				
	その他		円				
	一般財源		99,350 円				

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

ロボット制御を通じて、観察力・問題解決能力・理論的思考法の習得、コミュニケーション能力の向上と語学力の発達を図る。また、講演会を開催し、世界に目を向けるような子どもを育てる。

- ・市内小学校におけるロボット体験教室の開催
- ・子どもたちを対象とした、ロボット教室の開催
- ・サッカーロボット江津市大会、県大会の実施

#### ○事業の効果

サッカーロボット教室では、プログラミングによるロボット操作を経験し、科学に対する関心を高めることができた。

コーチ、役員等には地元の方に協力いただいております、地域が子どもを育てる体制ができつつある。

ロボットサッカー大会は江津ノード、島根県大会、全国大会を経験し、世界大会出場はならなかったが、子どもたちにとっての大きな経験と夢を与えた。

#### ○事業費 NPO法人 「てごねっと石見」 に委託。 委託料3,199,350円

節	金額	備考
給料	1,236,800	
法定福利費	169,630	
賃金	515,200	スタッフ賃金
旅費	212,835	普通旅費
需用費	689,237	消耗品、光熱水費、修繕料他
役務費	15,564	通信費
使用料及び手数料	120,469	事務所、会場借上げ
備品購入費	258,120	備品購入(プロジェクタ、ビデオカメラ、マイク)
公課費	2,000	
合計	3,219,855	(収入：参加料他20,505円)

事業名	放課後子ども教室推進事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	05	社会教育費
担当部署	教育委員会		社会教育		課	目	06	社会教育活動費
事業費 (A)			7,877,000 円		事業の目的・目標	学校・家庭・地域社会の連携協力により、子ども達が、健やかに過ごすことができる環境を整備すること。子どもとのふれあいを通じて住民同士のつながりを強め地域力のアップにつなげていくこと。保護者自身も、単に便利なサービスを楽しむ側に回るのでなく、できるだけ積極的に地域の取り組みに関わっていくこと。		
財源内訳	国庫支出金			円				
	県支出金	2/3		5,251,000 円				
	地方債			円				
	その他			円				
	一般財源	1/3		2,626,000 円				

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

##### ●放課後子どもプラン事業（放課後子ども教室推進事業）

放課後等に地域の公民館等を活用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強・スポーツ・文化活動・交流活動等の取り組みを行う。

#### ○事業の実績

事業名	実施場所	年間実施日数
●郷田っこひろば	(郷田小学校区)	38 日
●アフタースクールまつひらっこ	(郷田小学校区)	2 日
●渡津子どもひろば	(渡津小学校区)	27 日
●江津東すこやか広場	(江津東小学校区)	140 日
●跡市放課後子どもクラブ	(跡市小学校区)	196 日
●波っ子クラブ	(川波小学校区)	19 日
●都野津子ども教室	(津宮小学校区)	6 日
●二宮集いの家	(津宮小学校区)	244 日
●つのみやっこ広場	(津宮小学校区)	78 日
●角っこひろば	(高角小学校区)	107 日
●川越安心ひろば	(桜江小学校区)	134 日
●桜江小学校放課後子ども教室	(桜江小学校区)	173 日
		合計 1,164 日

#### ○事業の効果

- ・学校・家庭・地域が連携することにより、地域で子どもの育ちを支える気運が高まった。
- ・放課後子ども教室に参加する子どもは、上級生に面倒を見てもらったり、上級生は下級生の面倒をみるなど、異年齢間の関わりのなかで、相互に成長が見られる。
- ・集団で遊ぶことを子どもたちが学び、活発に活動できるようになった。
- ・そうした子どもたちの成長を目の当たりにして、事業に参画する大人も、社会貢献のやりがいや大切さを感じ、今後の地域活動への活力となった。
- ・地域住民の参画：のべ4,305人　子どもの参加：のべ20,867人

#### ○事業費の内訳

節	金額	内容
報償費	7,351,300	各教室コーディネーター等謝金
旅費	11,980	研修会等旅費
需用費	241,815	各教室消耗品等
役員費	271,905	各教室コーディネーター等保険料
計	7,877,000	

事業名		放課後児童クラブ事業			予算科目	会計	01	一般会計
						款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率	%		項	05	社会教育費
担当部署	教育委員会		社会教育	課		目	06	社会教育活動費
事業費 (A)				42,949,602 円	事業の目的・目標	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学しているおおむね10歳未満の児童等に対し、適切な遊び及び生活の場を提供して健全な育成を図る。		
財源内訳	国庫支出金			円				
	県支出金			13,923,000 円				
	地方債			円				
	その他			8,828,803 円				
	一般財源			20,197,799 円				

○ 施策の内容、実績

節	金額	備考
報酬	17,646,808	指導員報酬
共済費	2,754,208	指導員共済費(社会保険他)
賃金	1,388,520	補助員
旅費	62,520	指導員旅費
需用費	996,194	消耗品、光熱水費、修繕料他
役務費	324,916	通信費、損害保険料他
委託料	15,714,616	運営委託(桜江、川波、渡津、郷田) 浄化槽管理76,650円
工事請負費	3,858,750	津宮移転
備品購入費	203,070	津宮テレビ
負担金及び交付金		
合計	42,949,602	

児童クラブ名	入所児童数					合計
	指導員数	1年	2年	3年	4年～	
津宮放課後児童クラブ	5	16	21	9		46
高角放課後児童クラブ	3	27	6	0		33
江津東放課後児童クラブ	2	14	7	9		30
桜江放課後児童クラブ	2	2	8	4		14
渡津放課後児童クラブ	2	8	6	5		19
川波放課後児童クラブ	2	4	7	5		16
郷田放課後児童クラブ	2	7	3	4		14
計	18	78	58	36	0	172

郷田放課後児童クラブ開設  
 渡津放課後児童クラブ公設民営  
 津宮放課後児童クラブ移転改修工事(旧津宮幼稚園)

○ 事業の効果

放課後及び長期休暇中の子どもの安全と健全な育成を推進し、保護者の就業支援に寄与している。

事業名	教育コミュニティ創造ふるさと学習支援事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
	事業開始年度	平成 24 年度	事業進捗率		%	項	05	社会教育費
	担当部署	教育委員会	社会教育		課	目	06	社会教育活動費
事業費 (A)		4,423,644 円		事業の目的・目標	江津市のソーシャルキャピタルを豊かにし、地域の活性化を図るために、地域と学校の協働で行われる「ふるさと学習」を支援することで、将来、江津市を担う人材の育成とともに、地域の人材育成と学びを媒体とした学校・家庭・地域のつながりを創造します。			
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		円					
	地方債	100%	3,300,000 円					
	その他		1,123,644 円					
一般財源		円						

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

各小中学校が主体となつて行う次あげる活動を、江津市で支援します。

- (1) 郷土史、伝統文化、郷土芸能等の研究者・従事者を招いた講演
- (2) 伝統工芸、先端技術、特色のある技能等の体験活動
- (3) 自然体験活動・自然学習活動
- (4) 地域住民と一緒に社会貢献活動
- (5) 職場体験
- (6) 放課後等に行う学習活動
- (7) 通学合宿 (NPO委託事業)
- (8) その他、江津市の特色ある教育として支援すべきと教育委員会が認める活動

#### ○事業の実績

各校で行われた主な「ふるさと学習」

実施校：郷田小学校、渡津小学校、江津東小学校、跡市小学校、津宮小学校、高角小学校、桜江小学校  
江津中学校、江東中学校、青陵中学校、桜江中学校

- ・地域の伝統芸能を学ぶ  
祇園太鼓、ホーランエー、笛、太鼓、神楽、人麻呂など
- ・地域の歴史、自然を学ぶ  
江津本町、江の川、サツマイモづくり、石見銀山とのつながり、天領、植物採集など
- ・地域貢献活動、社会福祉体験  
高齢者世帯宅への弁当配布、河川清掃活動、保育所訪問、高齢者福祉施設訪問など
- ・キャリア教育の視点での活動  
JAXA職員の講演会(対象校卒業生)、工場見学、職場体験など
- ・学力保障  
放課後補充授業、ロボット教室、コミュニケーション講演会など
- ・教育コミュニティ講演会  
中学校区を対象として、小中学校の教諭と校区内の公民館、地域ボランティアが一堂に会した、教育コミュニティを考える講演会を実施。

通学合宿の実施(NPO法人てごねっと石見委託)

- 一回目 12月2日(日)～12月5日(水) 参加児童43名 参加ボランティア35名  
二回目 12月9日(日)～12月12日(水) 参加児童48名 参加ボランティア41名 参加児童は全体の4割

#### ○事業の効果

- ・児童・生徒が地域を知ることで、ふるさとを愛する心を育み、将来の江津を担う人材としての成長を図っている。
- ・児童・生徒の地域での活躍は、自己肯定感や自己有用感につながり、長い目でみると学力の向上につながる。
- ・子どもの成長を目の当りにする地域住民の感動や充実感は地域活動の活力につながると考えられる。
- ・子どもの成長に、多様な地域の人が関わるなかで、相互の結びつきが生まれ、地域の絆を強める一助になった。

#### ○事業費の内訳

区分	ふるさと学習支援	通学合宿	計	内容
報償費	1,383,080		1,383,080	ふるさと学習講師謝金、研修会講師謝金、地域学習ボランティア謝金
旅費	83,880		83,880	ふるさと学習講師旅費
消耗品	1,095,566		1,095,566	活動消耗品
役務費	200,080		200,080	連絡郵券料、体験学習手数料、太鼓保険料
委託料	430,000	750,000	1,180,000	NPO法人地球のステージ、はまだCAP、てごねっと石見(通学合宿)
使用料	3,450		3,450	資料館入場料
原材料費	477,588		477,588	教材材料費
計	3,673,644	750,000	4,423,644	

事業名	埋蔵文化財発掘調査事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成 24 年度	事業進捗率	100 %		項	05	社会教育費
担当部署	教育委員会	社会教育	課		目	08	文化財保護費
事業費 (A)		18,289,710 円		事業の目的・目標	埋蔵文化財の適正な保護、及び文化財保護思想の普及啓発。		
財源内訳	国庫支出金	50%	1,550,000 円				
	県支出金	100%	15,000,000 円				
	地方債		円				
	その他		20,837 円				
	一般財源		1,718,873 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容、実績

各事業者の行う開発行為に伴い、埋蔵文化財の有無及び取り扱いについての協議を行う。適正な埋蔵文化財保護を行う。

●本町川改修事業 【江津町】

- ・ 取り扱い 発掘調査による記録保存
- ・ 調査委託者 島根県浜田県土整備事務所
- ・ 委託金額 11,800,000 円
- ・ 委託期間 平成24年4月2日～平成25年3月15日

節	金額 (円)	備考
共 済 費	512,711	調査・事務補助員、現場・内業作業員
賃 金	8,205,459	調査・事務補助員、現場・内業作業員
需 用 費	1,373,034	現場・内業作業用具、事務用品、光熱水費等
役 務 費	65,032	郵券等
使用料及び賃借料	1,831,737	遺跡調査支援システム賃借・コピー機リース料
合 計	11,987,973	

本町川の河川改修に伴い発掘本調査及び出土遺物等の整理作業を行った。主な検出遺構は、近世山陰道及び付属石垣、中世遺物包含層等である。遺跡の取り扱いは部分的に現状保存とし、止むを得ない箇所については記録保存とした。

●県道改良事業に伴う遺跡調査 【渡津町】

- ・ 取り扱い 発掘調査による記録保存
- ・ 調査委託者 島根県浜田県土整備事務所
- ・ 委託金額 3,200,000 円
- ・ 委託期間 平成24年6月15日～平成25年1月31日

節	金額 (円)	備考
共 済 費	109,298	調査・事務補助員、現場・内業員
賃 金	2,355,190	調査・事務補助員、現場・内業員
需 用 費	194,296	現場・内業作業用具、事務用品、光熱水費等
使用料及び賃借料	542,609	遺跡調査支援システム賃借・コピー機リース料
合 計	3,201,393	

●遺跡発掘調査 【江津町】

- ・ 内容 本町土床坂保存の為の調査。 市内出土遺物保存処理業務。
- ・ 事業費 3,100,344 円
- ・ 国庫補助金 1,550,000 円 補助率1/2
- ・ 事業期間 平成24年4月1日～平成25年3月31日

節	金額 (円)	備考
共 済 費	1,433	調査・事務補助員、現場・内業員
賃 金	470,250	調査・事務補助員、現場・内業員
旅 費	21,000	補助事業協議
需 用 費	69,252	現場・内業作業用具、事務用品等
役 務 費	1,680	写真現像料等
委 託 料	2,474,850	地形測量、基準点測量等
使用料及び賃借料	61,879	簡易トイレリース等
合 計	3,100,344	

○事業の効果

調査の成果は、文化財保護思想の普及啓発のため、『出前講座』を通じて活用している。23・24年度に実施した本町川調査において、調査成果説明会を開催し、調査成果を広く周知すると共に調査への理解と協力を得た。また、土床坂調査では現地説明会を開催した。



事業名	水の国管理事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	05	社会教育費
担当部署	教育委員会		社会教育		目	09	生涯学習施設管理費
事業費 (A)			13,503,625 円	事業の目的・目標	市民の文化意識を啓発し、創作力、鑑賞力の向上に努め、文化活動の振興を図る。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		円				
	その他		5,569,220 円				
	一般財源		7,934,405 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容、実績

区	分	決算額 (円)	備 考
水の国・松林宗恵映画 記念館業務委託事業	指定管理料	12,725,000	人件費、光熱水費、設備保守等
	指定管理料 (企画展示)	500,000	
	小 計	13,225,000	
一般管理費	需用費	254,100	修繕料
	役務費	24,525	火災保険料等
	小 計	278,625	
合	計	13,503,625	

●入館者及び入館料

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
入館者 (人)	133	292	108	233	468	85	74
入館料 (千円)	46.6	102.3	34.4	71.0	134.8	30.2	26.6
区 分	11月	12月	1月	2月	3月	計	
入館者 (人)	128	15	28	22	163	1,749 人	
入館料 (千円)	43.4	6.0	10.0	7.2	21.8	534.3 千円	

松林宗恵映画記念館入館者数 2,017人

●事業報告

- ・ふるさと市 5月3日
- ・敬川太鼓公演 5月3日
- ・川越公民館お茶の会による野点 5月20日
- ・石もひとやく展&森のめぐみ&水石展 7月12日～8月31日
- ・鮎のつかみ取り 8月19日
- ・水石&自然史展 9月1日～2月28日
- ・ことのはライブin水の国 3月24日
- ・自然史展 3月25日～4月21日

○事業の効果

各種事業を年間を通じて開催することにより、集客に一定の効果が図られた。

事業名		学校給食費			予算科目	会計	01	一般会計
						款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率	%		項	06	保健体育費
担当部署	教育委員会		学校教育	課		目	02	学校給食費
事業費 (A)				99,863,281 円	事業の目的・目標	安全・安心で栄養バランスを考慮した給食を提供することによって、児童生徒の健やかな成長と、食の重要性、食に関する情報発信等の食育の推進に資することを目的とする。		
財源内訳	国庫支出金			円				
	県支出金			円				
	地方債			円				
	その他		721,195 円					
	一般財源		99,142,086 円					

施策の内容、実績、及び効果

●実績

	学校名	実施日数(日)	実施食数(食)
配食実績	郷田小学校	194	22,972
	渡津小学校	190	25,393
	江津東小学校	195	28,601
	跡市小学校	186	3,658
	川波小学校	194	22,364
	津宮小学校	196	82,181
	高角小学校	192	45,942
	桜江小学校	194	26,014
	江津中学校	190	49,778
	江東中学校	189	14,475
	青陵中学校	186	51,725
	桜江中学校	195	16,533
	江津幼稚園	126	7,071
	江津学校給食センター	201	4,522
	桜江学校給食センター	201	1,208
	計	2,829	402,437

●費用

需用費	光熱水費、消耗品費、修繕料等	24,186,988 円
役務費	電話料等	1,401,115 円
委託料	給食車運転業務委託料等	10,562,150 円
使用料及び賃借料	C A T V・印刷機利用料等	276,395 円
備品購入費	調理用備品等	350,190 円
負担金補助及び交付金	学校給食会運営費	63,033,643 円
公課費	給食車重量税	52,800 円
	計	99,863,281 円

●効果

安全、安心及び栄養バランスを考慮した給食を提供することにより、児童、生徒の健全な心と体の発育の一助に寄与した。